

2020 年度 教育 研究 活動 報告 用 紙 (様式 9)

氏名 高崎 智子	職名 教授	学位 博士 (医学) (九州大学 2001 年)
----------	-------	--------------------------

研 究 分 野	研究内容のキーワード
予防医学	健康寿命、生活習慣、がん教育、がん検診、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん

研 究 課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸を図るため、一般市民への啓発活動を通じて、学ぶことによる疾病予防を目指す。 ・がん検診に関する地域住民の意識と課題について検討する。 ・がん検診における要精密者の受診率を高めるための課題について検討する。 ・医療記録データを利活用するための自然言語処理を支援することを目的とした医療用語の語構成と意味の解析を行う研究に、医学的知識を持つ共同研究者として参加している。

担 当 授 業 科 目
病理基礎医学 (1 年後期) 疾病診断治療学 I (2 年前期) 疾病診断治療学 II (2 年後期) 臨床基礎医学実習 (3 年前期) 管理栄養士演習 I (4 年前期、後期) 初年次セミナー II (1 年後期) 卒業ゼミ (4 年通年) 実践活動 (3 年後期、4 年前期)

授業を行う上で工夫した事項 (※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【 病理基礎医学 】</p> <p>1 年生を対象としており、大学で初めて学ぶ医学講義であるため、医学用語をはじめとし、医学の基礎となる基本的な知識を習得することを目標とした。病気の本質を理解するために、体の中で起きる変化を遺伝子・細胞・組織レベルから学び、疾病の種類や病因、病態との関連へと理解を深めていくよう努めた。授業の多くを遠隔で行ったため、講義内容をプリントし事前に郵送した。遠隔授業への対応として、スライドに図表を多用して視覚的に理解しやすいようにし、文字も大きめにした。また聞き取りやすいようにはっきりと話すよう心がけた。学生側の受講状況が見えないため、授業中に質問をあてるなど、一方通行の授業にならないよう工夫した。レポートを提出する授業が増えていることを考慮し、理解度を確保するための確認テストを授業の中で行って提出させ、学生の負担が過重にならないようにした。毎回の授業の始めには、前回授業の確認テストにて理解度の低かった箇所を中心に再度解説し、知識の定着を図った。</p>
<p>授業科目名【 疾病診断治療学 I 】</p> <p>管理栄養士として栄養学を学ぶ上で臨床医学の知識は不可欠である。管理栄養士が知っておくべき基礎知識および医学的な考え方について学ぶために、代表的な疾患の成因、症状、診断方法、検査結果、治療方法などの知識を修得することを目標とした。授業のすべてを遠隔で行ったため、講義内容をプリントし事前に郵送した。遠隔授業への対応として、スライドに図表を多用して視覚的に理解しやすいようにし、文字も大きめにした。また聞き取りやすいようにはっきりと話すよう心がけた。学生側の受講状況が見えないため、授業中に質問をあてるなど、一方通行の授業にならないよう工夫した。レポートを提出する授業が増えていることを考慮し、理解度を確保するための確認テストを授業の中で行って提出させ、学生の負担が過重にならないようにした。毎回の授業の始めには、前回授業の確認テストにて理解度の低かった箇所を中心に再度解説し、知識の定着を図った。</p>

授業科目名【 疾病診断治療学Ⅱ 】

疾病診断治療学Ⅰで学んだ臨床医学的知識を基に、疾病や栄養療法に関する専門知識をさらに深めると共に、健康増進・疾病予防において管理栄養士が果たすべき役割についての重要性を学ぶことを目標とした。改訂された各種ガイドラインなどについては適宜補足して示し、常に最新の知識を得るよう促した。また実際に社会で問題となっている事例を取り上げ、学んでいる医学内容との関連を具体的に提示することで関心を高めるよう努めた。授業の多くを遠隔で行ったため、講義内容をプリントし事前に郵送した。遠隔授業への対応として、スライドに図表を多用して視覚的に理解しやすいようにし、文字も大きめにした。また聞き取りやすいようにはっきりと話すよう心がけた。学生側の受講状況が見えないため、授業中に質問をあてるなど、一方通行の授業にならないよう工夫した。レポートを提出する授業が増えていることを考慮し、理解度を確認するための確認テストを授業の中で行って提出させ、学生の負担が過重にならないようにした。毎回の授業の始めには、前回前回授業の確認テストにて理解度の低かった箇所を中心に再度解説し、知識の定着を図った。

授業科目名【 臨床基礎医学実習 】

管理栄養士はチーム医療を担う一員である。栄養管理を行う上で重要となる栄養状態や健康状態を把握するために今年度より新たに設置した実習である。医療面接法・身体診察法・栄養評価に必要な臨床検査法などを体験する、およびモデル症例を呈示して病態把握・診断・栄養指導方法を検討・討議する演習を行うことを目的とした。しかし実習のすべてを遠隔で行ったため、実際の検査をイメージしてもらうために、教員によるライブでの検査デモンストレーションや、事前に教員が収録した動画・専門機関等による公式動画を視聴する方法をとった。同時に疾病や病態についての解説をスライドで行うことにより知識の定着を図った。実習内容を発展させた課題を提示したが、授業時間外にレポートを作成し提出する授業が増えていることを考慮して、学生の負担が過重にならないよう各実習時間の中で作成させた。できるだけ多くの学生に質問をあて、学生が意見を述べる機会を持つ参加型の実習となるよう工夫した。

授業科目名【 管理栄養士演習Ⅰ 】

4年生を対象として、「人体の構造と機能および疾病の成り立ち」分野を中心に演習形式による講義を担当した。実際に出題された国家試験問題を中心に解き、解説を行った。解答を導き出す過程や要点をまとめたスライドを作成し、暗記に頼るのではなく理解して考える習慣付けができるようにした。国家試験頻出分野に関しては、類題をくり返し解くことで理解の定着に努めた。

授業科目名【 初年次セミナーⅡ 】

1年生を対象として、「研究倫理」に関する講義を行った。研究不正行為に関して事例を挙げながら紹介し、それらの行為が学生にとっても無縁ではないことを説明した。大学生としての身近な例として、不正のない実験ノートやレポートの書き方に関する指導を行った。

授業科目名【 卒業ゼミ 】

日本人で増加している大腸がんと乳がんは、欧米型食生活との関係が指摘されている。11名の4年生に対して、大腸がんと乳がんについて、「がんの予防と食事との関連」をテーマに、各自、文献検索等により情報収集・考察し、レポートにまとめることを指導した。学生の主体性を大切にしながら、資料の調べ方、引用の仕方、レポートの作成方法等について、遠隔にて指導を行った。本学で実施する市民公開講座にて地域住民への情報発信と健康支援を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のために公開講座を中止したため、各自、調べた情報をもとに要点をわかりやすくまとめ、市民向けに配布することを想定したオリジナルのリーフレットを作成した。また、がんの予防に有益な食材を使ったレシピを調べ、紹介させた。若者ならではの感性で、レイアウト、色彩、イラスト等にこだわったリーフレットを作成しており、これらの活動を通じて、卒業後に管理栄養士として栄養指導等を行う上での具体的な知識や患者とのコミュニケーション能力を養うことができたと考える。

授業科目名【 実践活動 】

日本人で増加している大腸がんと乳がんは、欧米型食生活との関係が指摘されている。13名の3年生に対して、大腸がんと乳がんについて、「がんの予防と食事との関連」をテーマに、各自、文献検索等により情報収集・考察し、レポートにまとめることを指導している。資料の調べ方、引用の仕方、レポートの作成方法等について、遠隔にて指導を行っているが、学生が自主的に取り組んでいることが伺える。学生の主体性を大切にしながら、今後4年前期にかけて、調べた情報をもとに要点をわかりやすくまとめたオリジナルの一般向けリーフレットを作成したり、がんの予防に有益な食材を使ったレシピを調査・考案したりしていく予定である。これらの活動を通じて、卒業後に管理栄養士として栄養指導等を行う上での具体的な知識や患者とのコミュニ

ケーション能力を養うことを目指している。

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
日本人間ドック学会	人間ドック認定医 人間ドック健診専門医 人間ドック健診指導医 人間ドック健診情報管理指導士 遺伝学的検査アドバイザー	2005年8月～現在に至る 2012年1月～現在に至る 2017年4月～現在に至る 2007年8月～現在に至る 2020年4月～現在に至る
日本抗加齢医学会	日本抗加齢医学会専門医	2020年1月～現在に至る
日本がん検診・診断学会	がん検診認定医	2012年10月～現在に至る
肺がん CT 検診認定機構	肺がん CT 検診認定医	2017年4月～現在に至る
日本乳がん検診精度管理中央機構	マンモグラフィ読影認定医	2006年10月～現在に至る
日本医師会	福岡県医師会認定総合医 日本医師会認定産業医 日本医師会認定健康スポーツ医	2017年4月～現在に至る 2016年9月～現在に至る 2011年5月～現在に至る

2020年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				
(学術論文)				
1. 意味ラベルを用いた「-性」を含む病名の言い換え	共	2020年12月	情報処理学会 人文科学とコンピューターシンポジウム 論文集 2020	①「-性」を含む病名 569 語を対象に、語構成要素に付与された意味ラベルを利用して病名を機械的に分かりやすく言い換えることを試みた。 ②麻子軒、相良かおる、高崎智子、東条佳奈、山崎誠 ③ P283-288
2. 実践医療用語の語構成と意味 一語構成要素語彙試案表の作成に向けて一	共	2020年12月	情報処理学会 人文科学とコンピューターシンポジウム 論文集 2020	①医療記録データを利活用するための自然言語処理を支援することを目的とした語構成要素語彙試案表の作成に向けて、医療記録に含まれる合成語 7,194 語を対象に、語構成と意味の解析を行った。 ②相良かおる、小野正子、高崎智子、東条佳奈、麻子軒、山崎誠 ③ P289-296
(翻訳)				

2020年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
<p>(学会発表)</p> <p>1. 「食と健康」に関する地域密着型食育活動の展開 ～大学連携講座 2019 年度事業報告～</p>	共	2020年9月	第 67 回日本栄養改善学会学術総会	<p>①地域住民の生活習慣の改善を図ることを目的として、「講演」と「食育イベント・食事提供」の2部制とした大学連携公開講座を継続して開催してきた。リピーターが80%以上であり、参加者の75.6%が70歳以上であることから、地域に根差した食育活動として定着し、かつ市民交流のひとつの場として高齢者の閉じこもり予防等にも繋がっていると考えられる。また野菜摂取や減塩を考慮した食事を喫食したことが、生活習慣改善への動機づけに繋がっていると推察された。</p> <p>②永田純美、田中貴絵、石井愛子、手嶋英津子、引地尚子、辻澤利行、中道敦子、高橋甲枝、長光里奈、高崎智子、八木康夫、近江雅代</p> <p>③ E-125</p>
<p>2. 「食と健康」に関する地域密着型食育活動の展開 ～参加回数が食嗜好および生活習慣改善に及ぼす影響～</p>	共	2020年9月	第 67 回日本栄養改善学会学術総会	<p>①地域住民の生活習慣の改善を図ることを目的として、「講演」と「食育イベント・食事提供」の2部制とした大学連携公開講座を継続して開催してきた。参加回数が多い者において「健康度の自覚」「食生活改善への関心」が高く、薄味を好むことがわかった。公開講座への参加が、生活習慣改善への動機づけに繋がっていると推察された。</p> <p>②田中貴絵、石井愛子、手嶋英津子、引地尚子、辻澤利行、中道敦子、高橋甲枝、永田純美、長光里奈、高崎智子、八木康夫、近江雅代</p> <p>③ E-126</p>

2020年度 研究業績等に関する事項

著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
3. 病名を表す合成語の語末調査	共	2020年9月	言語資源活用ワークショップ(LRW)2020	①病名 5,465語を対象に、語末1文字、2文字、3文字における語の頻度を調べ、ある合成語が病名であるか否かをその語末から判別可能であるかについて検討した。 ②相良かおる、高崎智子、東条佳奈、麻子軒、山崎誠 ③ P2-8
4. 病名における「-性」の分析 ～一般書籍との比較から～	共	2020年9月	言語資源活用ワークショップ(LRW)2020	①医療用語 7,194語を対象に、「-性」を含む病名の前要素の分析を行い、一般書籍における用例と比較し、用法の特徴について検討した。 ②東条佳奈、相良かおる、高崎智子、麻子軒、山崎誠 ③ P4-9

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究

研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
語形成および意味的情報を付加した実践医療用語辞書の構築	文部科学省 科学研究費補助金（基盤研究(B)）	○相良かおる、高崎智子、小野正子（山崎誠、東条佳奈、麻子軒）	2020年度 5,590,000円
人生100年時代を健康に豊かに生きるための地域貢献活動の展開 ～他職種連携による食育推進～ (新型コロナウイルス感染予防の観点より、本年度は中止した。)	西南女学院大学共同研究費	○近江雅代、高崎智子、他、看護・福祉・栄養学科教員（・九州歯科大学教員）	1,278,000円

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(2) 個人研究

研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社 会 に お け る 活 動 等

団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等
国家公務員共済組合連合会 新小倉病院	非常勤医師・産業医	2019年2月～現在に至る

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)

<p>倫理審査委員会 委員 (2019年4月1日～現在)</p> <p>入学試験会議 委員 (2020年4月1日～現在)</p> <p>ハラスメント相談員 (2020年4月1日～現在)</p> <p>学生募集委員会補佐 (2020年4月1日～現在)</p> <p>学生アドバイザー (2019年4月1日～現在)</p> <p>管理栄養士国家試験対策講座 (前期・夏期集中・後期・国試直前)</p> <p>高校訪問 (2020年8月～9月)</p> <p>栄養学科学生に対して「遠隔授業における学生の健康状態に関するアンケート調査」実施 (2020年7月、2021年1月)</p>
